



- 1 現地法人前にて、ミャンマー人スタッフたちと
- 2 ミャンマーでの工事作業風景
- 3 高知市の本社オフィス



# アーキテック株式会社

ミャンマーにおいて、建造物の防水加工などの専門工事を行う。2017年に現地法人、2018年には内資会社をそれぞれヤンゴンに設立。現地では工場やホテルの建造の現場にて、複数の案件を受注している

展開国・地域 2018年 ミャンマー

**企業情報** 所在地: 高知県高知市 従業員数: 22名  
 設立: 2005年10月 URL: <https://www.architec-k.com>  
**事業内容** 建造物の外壁の防水塗装・内装工事

## 技術へのニーズ／現地の人柄に引かれミャンマーへ

弊社は建造物の防水加工、内装工事などを中核事業としています。数年前、知人から「ミャンマーには現在、建築資材の防水加工を専門に行う会社がない。競合がない中で高い技術力を持って進出すれば、成功のチャンスがある」という話を聞き、ミャンマーへの進出を考えるようになりました。実際に現地に行ってみると、雨季に降水量が増え、外壁が傷みやすいという同地の事情が分かり、弊社の施工技術に一定の需要が見込めることは確かでした。また、2015年から高知の本社でミャンマー人の技能実習生の受け入れを開始しましたが、彼らの実直な人柄に好感を覚えたことも、進出への決意を後押ししました。そうした背景を踏まえ、2017年3月にはヤンゴンに現地法人(合弁会社)を設立し、現地での本格的な操業開始に向けた下地を整えました。

## ミャンマービジネス成功の第一歩を踏み出す

ミャンマーでの操業開始の準備を進める中で、資材の安定した確保や人員体制の整備に困難を感じ、2017年9月からJETRO「新輸出大国コンソーシアム」専門家の支援を受けました。専門家にはミャンマー現地の法律や、ASEAN地域での商習慣を中心に助言を受けました。これらのサポートは課題の解決に非常に役立ちました。資材の確保の問題については、2018年7月に現地内資会社を設立し、日本やその他の外国から建材の原材料を直接輸入することで解決できました。人員体制の整備についても、技能実習制度で高知の本社に勤務経験のあるミャンマー人スタッフを雇用し、現地採用の人材の指導に当たらせることなどで、20人規模の安定した運営体制を築くことができました。こうして現地での運営体制が整った後も、専門家からは主に日系ゼネコンに向けた販路拡大のPR活動などに関してアドバイスをもらい、ミャンマー事業での二人三脚は続きました。その結果、2018年11月には日系ゼネコン数社から、テラワ工業団地で建造する工場の外壁工事などの専門工事を複数受注しました。また、ヤンゴン市内の開発案件においても、学校やホテルの建造に関する工事を一部受注するなど、少しずつ各方面からお声掛けをいただくようになってきました。

## 事業を通し、自社だけでなくミャンマーの若者も幸せにする

ミャンマーでのビジネスを少しずつ軌道に乗せることができたのは、弊社が提供する技術へのニーズがあったこともさることながら、現地で会社を運営するための体制を整備することができたのが大きかったと思います。高知の本社に技能実習に来たミャンマーの若い人材を母国で雇用する体制は、現地で会社の運営を可能にするだけでなく、日本にやってくる実習生のやる気を引き出すなど、ミャンマーの若者とわれわれとの間に、ウィンウィン関係を構築することにつながりました。ミャンマーへの進出を最初に考えた時、心の中には「われわれの事業を成功させると同時に、この国の若者たちが働く居場所を生み出せば」との思いがありましたが、その双方の実現に向けて良いスタートを切ることができたと思っています。ミャンマーの建造物施工の現場では、防水性の外壁塗装の重要性が十分認識されていないなど、課題はまだ残っていますが、この初心を忘れずに現地事業の拡大を行っていきたく思います。



専門家・技能実習生と手を組み、  
 高知からミャンマーへ進出。  
 挑戦は始まったばかりです

代表取締役  
鎌倉 正典 氏

### 専門家からのポイント

支援開始当初、アーキテックは既に合弁会社設立を終え本格的な営業を開始するところでした。一緒に訪問計画を立て、日系ゼネコンを精力的に回り、PR活動や責任者から直接生の声を聞いて歩きました。その結果、日系工業団地での受注が実現し、さらに、今後の大型受注への期待が高まっています。同社の海外進出成功の鍵は現地技術者の雇用と工事用材料の入手にあります。社長の行動力で既に実施部隊がスタンバイし、日系、欧州、アジア系工事材料代理店とのネットワークを築いています。